

# 栗原市地震防災マップ

## 揺れやすさマップ 若柳地区

### 宮城県沖地震(単独型)の場合

金成地区

若柳地区

築館地区

志波姫地区

登米市

- この揺れやすさマップは、海溝型の地震である宮城県沖地震(単独型)を想定した場合の震度分布を、100メートルメッシュ毎に表現しています。
- この地震は、平均すると37年に一度、1978年の宮城県沖地震と同様の場所と規模と同じように繰り返して起きると考えられているものです。今後30年間の発生確率は99%といわれています。マグニチュード 7.6 を想定しています。
- なお、ここに示した震度は、地震の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さです。地震の発生の仕方によっては、揺れはこれより強くなったり、弱くなったりすることがあります。

#### ■震度の大きさは震度とはなにか？

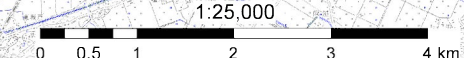
地震が起こったとき、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。震度の決め方は国によって異なり、わが国では気象庁が定める震度階級によって震度を表しています。従来は震度の7までの階級でしたが、平成9年10月からは震度が9まで分けられ(震度4、震度5弱から震度7まで)と1段階追加されました。また、気象庁が震度観測を公表する、従来の気象庁職員が観測した計測所の震度や民間の観測所からの震度観測データから推定した震度(震度推定)の震度値が加えられ、この震度推定値(計測震度)といえます。)をもとに計算で震度を算出するようになっています。

震度階級	人間	屋内の状況	屋外の状況	木造建物
0	大は揺れを感じない。			
1	揺れを感じることがあるが、大は揺れを感じない。			
2	揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。大は揺れを感じる。	軽微な揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。		
3	揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。大は揺れを感じる。	軽微な揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。		
4	揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。大は揺れを感じる。	軽微な揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。		
5弱	揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。大は揺れを感じる。	軽微な揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。		
5強	揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。大は揺れを感じる。	軽微な揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。		
6弱	揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。大は揺れを感じる。	軽微な揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。		
6強(1)	揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。大は揺れを感じる。	軽微な揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。		
6強(2)	揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。大は揺れを感じる。	軽微な揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。		
6強(3)	揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。大は揺れを感じる。	軽微な揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。		
6強(4)	揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。大は揺れを感じる。	軽微な揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。		
6強(5)	揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。大は揺れを感じる。	軽微な揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。		
7	揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。大は揺れを感じる。	軽微な揺れを感じる人が多く、揺れを感じる。		

**凡例**

**震度**

- 震度2以下
- 震度3
- 震度4
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強(1)
- 震度6強(2)
- 震度6強(3)
- 震度6強(4)
- 震度6強(5)
- 震度7



#### ■マップの作成手順

このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、震度(揺れの大きさ)を予測しています。

○地域に影響の大きいと考えられる地震(活断層の地震(長野・新潟断層による地震)、海溝型地震(宮城県沖地震(単独型、連動型))、ここでもおなじみの地下の地震)を選び、震源となる断層の規模や位置、形状などの情報を設定します。

○それらの情報に基づいて、地震の規模や震源となる断層までの距離などにより揺れの強さが異なる性質を用いて、地表面付近(地下の基盤)での揺れの大きさを計算します。

○次に、地表面での揺れの大きさ(震度)は、地表面付近での揺れの大きさに、地盤の性質(地震)揺れやすさを加えることで求められます。地表面では大きな揺れによる性質が加わることで、震度が大くなります。

○このマップでは、全域を100mメッシュに分割し、メッシュごとの地表面の震度を詳細に求め、表示しています。

※このマップにおいて、川・湖沼等の周辺の市の境界部等、計算上、色の塗られていない箇所があります。

《お問い合わせ先》  
 栗原市建設部 建築住宅課  
 TEL 0228-22-1158 FAX 0228-22-0313

この地図は、国土地理院長の承認を得て、関係発行の数値地図5000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号、平19総研、第390号)